

片貝中学校同窓会会報

第22号 2022年1月

片貝中学校 ☎ 0258(84)2030

☎ 0258(84)3880

http://www.city.ojiya.niigata.jp/katachu/
(中学校HP)

E-mail katachu@ojiya.ed.jp

友窓



就任にあたり

同窓会副会長

鈴木 俊之

新年明けましておめでとうございませう。

昨年度より同窓会副会長を務めさせていただくこととなりました。我々片貝中学校同窓会は発足してから64年という年月が経ち、年間いろいろな行事を行なってきたりしました。しかしながらコロナウイルスの脅威にさらされ、なかなか思うように行うことができません。小千谷市内に於いても第5波までに累計で100人を超える陽性者が出ており、片貝町でも感染者が数人出ました。そんな中、今年度は同窓祭幹事学年や役員の皆様が思考を凝らし、代わりの形で同窓祭を開催することができました。幹事学年及び役員の皆様においては、大変なご苦労をおかけしました。ありがとうございます。来年はコロナも収束し同窓会としても様々な行事ができますことを願っております。私も片貝に戻り、早17年になります。その間、町の人口も減少し、名だたる著名人も他界され、伝統を引き継ぐ者も少なくなってきたりしています。今後、新しい生活様式の中で、様々な変化が生じたり要求されたりすることと思えます。各同級会も参加したり運営に携わったりすることが難しい状況もあります。こ

のことも踏まえながら、伝統を守りながらも続けて行く為にはどうすれば良いのか考えなければならぬ時期にきています。より多くの方々から御意見を聞き、同窓会の活動がより良く時代に即したものになるよう考えていかななくてははいけないと思えます。

現在、中学校の生徒たちも人数が少なくなり、数年後には今のような部活動ができなくなるかと聞いております。頑張っている生徒たちが一層学習にスポーツにと活躍できるように同窓会としても応援していきたいと思えます。

同窓会、中学校が更なる発展をするよう皆様の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。



ありがとうございますの中で
片貝中学校長
田村 豊

明けましておめでとうございませう。旧年中の格別の御高配に心から感謝し、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

オミクロン株の出現により、未だ不透明な状況が続いております。その中で同窓会の皆様からは、最適な条件での同窓会入会式、東京片貝会教育講演会などの開催とともに、多大な御厚情を賜りました。本当にありがとうございます。また、片貝町

を支え人をつなぐ存在として御尽力されていることに、深甚なる敬意を表すものであります。

さて、昨年十一月に片貝まつりの中止が決まった際、三年生の数人から「今年もお囃子コンクールをやってほしい」と懇願されました。そのほか悔しがっている子どもたちからも、片貝を誇りとして自分たちもできることをやるという気概が伝わってきました。子どもたちが同窓会や町の皆様から形あるものだけでなく込められた思いを肌で感じ、先人から脈々と続く伝統や文化の担い手としての精神を育んでいることを確信しました。

最近、片貝町を扱う取材や各種の協力依頼が多くなっている気がします。それは、コロナ禍であらゆるものの意義や価値が問われ、心の拠りどころや社会のあり方など生きる上で本質的なものを求める表れであると思えます。そんな時、星の王子さまにある「心で見なければものごとにはよく見えないってことさ、本当に大切なものは目に見えないんだよ」の一節が浮かびます。子どもたちからは、このような見方や考え方を更に膨らませていく可能性を感じます。

一学校は、地域に学び地域とともに歩む教育を目指しております。今後とも、子どもたちの健全育成にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新入会員

悠幸会

第七十四回卒業生代表

小宮 大高

新年あけましておめでとうございませう。

この度、私たちは「悠幸会」として片貝中学校同窓会に入会することとなりました。長き伝統ある同窓会に入会できることを大変光榮に思います。

「悠幸会」はいつまでもみんなの幸せが続くように、という思いを込めてつけました。

今まで支えて頂いた多くの人への感謝と恩返しのお気持ちをもち、片貝まつりをはじめとする地域の様々な行事に参加していきたいと思えます。

会の代表としてまだまだ未熟者ではありますが、町民の皆様にも早く会の名前を覚えて頂けるよう努力していきますので、今後ともよろしくお願ひ致します。



令和三年同窓祭 記念行事を終えて

同窓祭実行委員長
平成会 本田 勝則

令和三年五月三十日に第三十
一回同窓祭記念行事を縮小して
開催させていただきました。今
回特別な形で開催できたことは、
同窓会役員のご指導と同窓会会
員各位のご理解ご協力があつて
のことと思います。また各町内
会様並びに片貝中学校・片貝小
学校・片貝保育園・片貝総合セ
ンター様からもポスター掲示に
ご協力をいただきました。本当
にありがとうございます。

令和二年十二月引継会をした
時は、英国で最初のワクチン接
種がニュースになったところで、
日本のワクチン接種がどうなる
か、集会の開催が社会的合意で
どこまで許容されるのか分かり
ませんでした。幹事学年の平成
会と輝翔会で半年後の状況を想
定して、コロナ禍の同窓祭は何
をすべきなのか、できることは
何か協議を重ねて参りました。
今回の同窓祭は参加者を幹事
学年に限定して「片貝町ゴミ0
の日」としてゴミ拾いを行いま
した。当日は晴天に恵まれ、総
勢三十三名で片貝町の主要道路
を縦断して廻りました。そして

コロナ禍にあつて、片貝町の励
みになる架け橋を創造できない
かと考え「ポスター大作戦」と
して町内の掲示板にオリジナル
ポスターを張り出しました。輝
翔会の石上竜司さんが花火と片
貝祭りの風景を描き上げてくれ
ました。「みんなにとどけ」と
描かれた活気のある姿は、片貝
町民の願いそのものであつたと
思います。幹事学年で地域の負
託に応えようと活動できたこと
は、片貝の素晴らしい伝統です。
最後に、令和四年が皆様に幸
多い年であること並びに同窓祭
記念行事が盛会に開催されます
ことをお祈り申し上げます。



東京片貝会

教育講演会を終えて

鳳凰会

吉原 忠彦

この度は、コロナ禍にもかか

わらず、講演会を無事開催して
いただいた関係者の皆様に深く
感謝申し上げます。また大変貴
重な機会を頂きましたこと、心
より御礼申し上げます。

今回の講演では、持続可能な
社会を継続するために、主食で
ある「ごはん」をもっと食べて
もらいたい、というメッセージ
と、最新の食品研究の話題を織
り交ぜながら、食品製造業の取
り組みについてお話しさせてい
たきました。小・中学生の皆さ
んには難しい内容もあつたかと
思います。講演を聞かれた皆
様の心に、少しでも響くところ
があれば幸いです。

結びに、新型コロナウイルスの完全終
息と、片貝中学校並びに片貝中
学校同窓会の益々のご発展を心
よりご祈念申し上げます。



二年越しの三十三歳厄年花火を終えて

希風会会長
神林 紗和子

新年あけましておめでとようご
ざいます。

昨年ようやく厄年の花火を打
ち上げることができました。皆
様から温かいお言葉を頂き、希
風会一同感謝申し上げます。同
級生の絆を再確認でき、得る物
が多い貴重な年でした。感謝の
気持ちを今後は片貝町に貢献で
きるよう会員全員で頑張ります。
本年が町民の皆様にとつて、
幸多き年となりますよう心より
お祈り申し上げます。

三十三歳厄年花火打ち上げを終えて

華成会
金子 香奈江

この一年、会としてはなかなか
か集まることできませんでした
たが、十一月六日の打ち上げで
は約二十名の会員が集まり、楽
しい時間を過ごすと共に、厄年
としての区切りをつけることが
できました。この場をお借りし
て今回の機会を作って下さった
皆様に感謝申し上げます。

また全会員が揃い、お祭りに
参加できる日が来ることを心待
ちにしております。

成人玉送りを終えて

兔籠会
芝 迅平

新年あけましておめでとようご
ざいます。

昨年色んな方々の協力のおか
げで成人の玉送りをすることが
できました。誠にありがとうございます
でした。無事に花火を皆で
観ることができ、忘れられない
思い出となりました。

今年からは若の一員として、
精一杯頑張っていきたいと思います。
これからもよろしくお願ひします。

成人玉送り行事を終えて

晴葉会
吉原 颯汰

新年、明けましておめでとよう
ございます。

昨年度の成人合同玉送りでは、
町民の皆様はじめ先輩方々から
ご支援ご協力いただき大変感謝
申し上げます。当日の晴葉会の
参加は三人だけでしたが、兔籠
会の先輩方のおかげで最高の花
火を打ち上げることが出来まし
た。本当に感謝致しております。
これからは若として精一杯頑
張りますので、変わらぬご指導
の程よろしくお願ひ致します。

わが同級会 紹介



成人を迎えるに
あたつて
逢籠会会長
大野 拓

新年あけましておめでとうございませう。

片貝中学校第七十回卒業の「逢籠(あいちよう)会」です。会名にもある「籠」という字には「お気に入り・大切にする」という意味があり、逢籠会という会名には、小さいけれど温かい町、片貝に生まれ、ここで出逢ったことを大切にしようという思いが込められています。秋季例大祭に向けて精一杯頑張りますので、ご指導ご協力の程よろしくお願ひいたします。本年が町民の皆様にとって、幸多き年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



三十三歳厄年を
迎えるにあたつて
爽飛会
安達 麻奈美

新年あけましておめでとうございませう。

今年三十三歳厄年を迎える、片貝中学校第五十九回卒業生の「爽飛(そうひ)会」です。日頃より片貝町民の皆様には温かいご支援ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

私たちが爽飛会は、小中学校時代の「つばさ学年」にちなんで、夢や希望に向かって爽やかに飛んでいけるようにと思ひが込められています。社会へ羽ばたいて十余年が経ち、コロナ禍での厄年という節目を迎え、例年どおりとはいかないこともありますが、この状況だからこそ仲間と共に過ごす時間の大切さを感じております。皆で積極的に準備を進めることも難しい状況になるかもしれませんが、秋季例大祭の成功に向け、会員一同絆をより一層深めながら頑張つていきますので、町民の皆様、先輩の方々、ご指導の程よろしくお願ひ致します。本年が町民の皆様にとって、幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



四十二歳厄払いを
迎えるにあたつて
恒暉会会長
黒崎 慎一郎

新年あけましておめでとうございませう。

今年四十二歳厄払いを迎える第四十九回卒業生の「恒暉会」と申します。日頃より町民の皆様にはご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

この度詠えた半纏を纏い、背負うのは「恒暉」の二文字。『いつも変わらず、光輝く』この恒の字に星と書いた恒星は、太陽のように自らの内なるエネルギーを放つことで周囲に影響を与える星を表します。小中学校時代「あおぞら」学年として共に学び、太陽のように光輝く会名を掲げた私たちが放つ光は、会員一人一人の内なるエネルギー。

未だコロナ禍ではありますが、楽しむ気持ちや感謝の心、共助の精神など、思いを行動に表すことを大切に会員同士高め合い、会として益々輝きを放てるよう、そして、片貝町に貢献できるように準備を進めて参ります。本年が町民の皆様にとって、幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



五十歳記念行事を
迎えるにあたつて
輝友会会長
品田 明憲

新年、明けましておめでとうございませう。

私達「輝友会」は、片貝中学校第四十一回卒業生です。本年の秋季例大祭において五十歳記念行事を執り行う事となりました。

日頃より、町民の皆様には、ご指導ご支援を頂き、誠にありがとうございます。会員がそれぞれの道で輝いていけるようにと旅立ってから、三十余年過ぎました。それぞれの立場で努力を重ね、この厳しい時代を生きております。

この度、五十歳記念行事を迎えるにあたつて、頑張っている仲間たちをお互いに労い合えるように、再会を楽しみに準備を進めて参ります。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願ひ致します。今年こそは、この世界的な感染症がなくなり、大勢の方々と花火を見られるお祭りが出来るように願つております。本年が町民の皆様にとって、幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



還暦記念行事を
迎えるにあたつて
恒友会会長
佐藤 正美

新年あけましておめでとうございませう。

日頃より片貝町民の皆様には温かいご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年還暦を迎える片貝中学校第三十一回卒業生の「恒友会」です。「永遠の友情」の思いを込めて名付けました。コロナ禍の収束の兆しも見え還暦という新しい人生のスタートに立ち、今何ができるのかを考え、それぞれの人生を歩んできた仲間との心をひとつにして会員同士の絆を深めていければと思います。そして、それぞれの立場で輝き続けられることを願つております。

秋季例大祭還暦記念行事が、有意義で心に残り無事「友情の華」を咲かせられるよう準備を進めて参ります。今後ともご理解とご協力の程宜しくお願ひ致します。本年が町民の皆様にとって、笑顔と希望にあふれ、幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



会長就任にあたり
東京片貝会会長
つぐみ会 安達 亮一

新年明けましておめでとうございませう。

昨年六月、本田会長退任の後を引き継ぎ、東京片貝会会長を拝命することになりましたので一言ご挨拶申し上げます。引継ぎ後の新役員は

会長 安達亮一(つぐみ会)
副会長 内藤富美子(つくし会)
副会長 徳永隆浩(さざなみ会)
事務局 藤塚伸雄(福寿会)
そして、各会から参加いただく理事が協力して、会員相互の交流と親睦を図ってまいります。宜しく願います。

東京片貝会は、片貝にゆかりのある東京周辺在住の会員の思いと、片貝在住の皆様のご支援・ご協力により、創立以来六十年を超えております。今後も持続可能な会として活動していくことを基本に取り組んでまいります。

新型コロナウイルスの感染拡大から約二年が経過いたしました。この間、東京片貝会も活動自粛して昨年度は総会・新年会の中止、今年度の総会も来賓なしの最少人数による自粛開催、

新年会は中止といたしました。教育講演会につきましては、当

会からは企画立案のみで、当日の来場は自粛させていただきますが、同窓会の皆様、小・中学校の教職員の皆様にお願いで万全の感染予防策のもと、中止することなく開催していただきました。あらためまして厚く御礼申し上げます。本年六月の総会が開催できる状況になりました際は、片貝からも多くの方々に来賓として参加いただき歓迎できることを願っております。

コロナ禍により活動に制限がある中、当会では多くの会員が使えるようになっていくスマートフォンを活用して会員への情報発信・共有を増やしていくこととしております。ホームページでも見やすいようにしました。アプリを使った情報交換のグループも再構築中です。現在の会員が使いやすい、新会員を増やしていくためにも役立てられるよう工夫してまいります。

最後になりますが、同窓会の皆様、片貝町の皆様のご健康を祈念いたしますとともに、今年こそは片貝まつりが開催できまことを願っております。

同窓会行事報告

令和3年

令和3年1月10日 同窓会会報

「窓友」第21号発行

2月26日 第74回卒業生

悠幸会 同窓会入会式



同窓会入会式
悠幸会

先輩激励の言葉
若林ひかる様(希風会)
卒業生木遣り指導 片貝伝
統芸能保存会

3月2日 片貝中学校 卒業式

3月27日 同窓会役員会議

4月7日 片貝中学校 入学式

4月7日 同窓会総務委員会

令和2年度会計報告、会計
監査報告及び承認

・第30回同窓会行事、決算報告
・第31回同窓会行事計画の説
明及び承認

4月28日 本年度中止

中学校教職員歓迎会

5月30日 総会、懇親会は中止

片貝中学校同窓会総会

第31回同窓会「5月30日
片貝町ゴミの日」

「ポスター大作戦!!」

6月27日 東京片貝会総会

8月上旬 本年度中止

片貝まつり 玉送り行事に
ついて今後の取組

8月15日 本年度中止

第62回同窓会親善球技大会

8月下旬 本年度中止

片貝まつり 各厄年、記念
行事事務所挨拶

10月8日 第39回東京片貝会教
育講演会

講師・吉原忠彦様(鳳凰会)
演題・「食品製造業の未来
に向けての役割と持続可能
な社会の実現を目指して」

10月17日 本年度中止

町民運動会

10月25日 同窓会 当番幹事引
き継ぎ式 平成会 輝翔会

↓飛翔会 暖心会

11月14日 第42回町民伝大会

同級会の部・優勝 結虹会



同級会の部
優勝 結虹会
町民伝大会

同窓会役員名簿

名誉会長	田村 豊
会長	久賀 透
副会長	小野塚 祐一
副会長	鈴木 俊之
学校事務局長	佐藤 壮
事務局局長	堀沢 直樹
副事務局局長	本田 和憲
副事務局局長	山口 拓朗
事務局	吉原 孝
	佐藤 智之
	浅田 浩幸
	高橋 昭雄
	五十嵐 秋男
	堀井 幸一
	佐藤 瑞穂
	友田 貴子
	芝 雪絵
	佐藤 江里子
会計	安達 淳
副会計	安達 勇二郎
幹事	丸山 博之
	安達 康治
	小宮 勉
	黒崎 啓午
	神林 和也
	藤塚 洋平
	丸山 英男
会計監査	石上 崇博
第31回同窓会実行委員長	本田 勝則
副実行委員長	吉原 秀俊